



	小学校 第1学年	小学校 第2・3学年	小学校 第4・5学年	小学校 第6学年	中学校 第1学年	中学校 第2学年	中学校 第3学年
A 数と計算	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 数の構成と表し方 加法, 減法 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体物を用いた操作活動を設定する。(ブロック, 数え棒) ものの数に着目し, 具体物や図などを用いて表現させる。 算数・数学を学ぶ基礎を作ること意識し, 指導する。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 十進位取り記数法 $1/2$, $1/3$ などの分数 乗法九九 ・四則計算 小数の計算 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの数や数量の関係への関心を高める工夫をする。 数量の関係に着目し, 四則計算の方法や性質を考えさせる。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 億, 兆の単位 概数と四捨五入 整数, 小数の記数法 分数の加法, 減法 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年生までの既習事項を生かす。 目的に合った表現方法を用いる。 数の仕組みや構成する単位に着目させる。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 分数の乗法, 除法 文字を用いた式 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 分数の乗法, 除法について, 整数と同じ法則が成り立つことを生かす。 数学的に表現・処理したことを振り返り, そのよさを活用する場面を設定する。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 正の数, 負の数の四則計算 (素因数分解) 文字を用いた式 一元一次方程式 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習事項 (小学校) を生かす。 数を代入する作業を取り入れ, 文字に対する抵抗感を和らげる。 文字を用いることのよさを実感させる。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を用いた式の四則計算 連立方程式 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 一元一次方程式の解き方に帰着させ, 関連付けて指導する。 式を目的に応じて見直しをもち, 的確に用いることができるように指導する。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 平方根 (誤差・近似値) 展開と因数分解 二次方程式 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 正方形の面積を活用するなど, 有理数で表すことができない数があることを通して, 平方根の理解を深めさせる。
B 図形	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 形とその特徴の捉え方 形の構成と分解 方向やものの位置 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間分け, 形遊び, 箱積みなどを通して, ものの形を認め, 形の特徴を捉える経験を重ねる。(ざんかく, しかく, まる, 箱の形, ボールの形など) 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 三角形, 四角形 正方形, 長方形, 直角三角形 二等辺三角形, 正三角形 角, 円, 球 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 辺の長さ, 数, 直角に着目して図形の名前を理解させる。 身の回りにあるものや具体物, 操作活動を通して指導する。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 合同 (ぴったり重なる) 平行四辺形, ひし形, 台形 立方体, 直方体 (見取図, 展開図) 面積, 角の大きさ 小4 (cm, m) 小5 (km, cm, m) <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形を構成する要素などに着目し, 具体的な操作活動を通して面積の求め方を指導する。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 縮図, 拡大図 対称な図形 円の面積 角柱, 円柱の体積 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形を構成する要素などに着目し, 具体的な操作活動を通して体積の求め方を指導する。(面を重ねると立体になるなど) 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な作図 平行移動, 対称移動, 回転移動 直線や平面の位置関係 図形の計量 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 定規, コンパスの用途を理解させる。(ものさしと定規の違い) 既習事項を振り返りながら, 操作活動を重視して指導する。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 平行線や角の性質 三角形の合同条件, 証明 (反例) 平面図形の性質 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 小5の振り返りをしながら, 用語や図形の性質の定着を図る。 定規, コンパスなどを用い, 三角形の合同条件を理解させる。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 三角形の相似条件 平行線と線分の比 円周角 三平方の定理 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 小6の振り返りをしながら, 合同の違いを意識させる。 定規, コンパスを用いた指導を心がける。
C 測定/変化と関係関数	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 量の大きさの直接, 間接比較 時刻の読み方 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え, 大きさの比べ方を考えさせる。 具体物の直接比較から間接比較という活動を大切にす。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 長さ, かさの単位と測定 長さ, 重さの単位と測定 時間の単位 小2 (mm, cm, m, mL, dL, L) 小3 (km, g, kg) <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 量の単位を的確に表現できるように指導する。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 表や式と折れ線グラフ 簡単な場合の比例・速さ・割合 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 二つの数量の変化の様子を表や式, 折れ線グラフを用いて読み取ることができるよう指導する。 割合の指導については, 数直線図を活用し, 何が基準量になるのかを確実に理解させる。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 比例の関係 比例の関係をを用いた問題解決の方法 反比例の関係 ・比 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の事象に着目し, 伴って変わる二つの数量を見つけ出し, 表や式, グラフを用いて表現することができるよう指導する。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数関係の意味 比例, 反比例 座標の意味 比例, 反比例の表, 式, グラフ <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラックボックスなどを活用しながら関数の意味を理解させる。 表, 式, グラフの関連に着目させる。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象と一次関数 二元一次方程式と関数 一次関数の表, 式, グラフ <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 常に表, 式, グラフを関連付けながら, 関数の理解を深めさせる。 時間と距離など, 日常の事象をグラフで表すことによって考察しやすくなることを実感させる。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象と関数 $y=ax^2$ いろいろな事象と関数 関数 $y=ax^2$ の表, 式, グラフ <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 表, 式, グラフを関連付けながら, ほかの関数と比較する活動を取り入れる。 曲線における変域が直線と違うことを実感させ, 高校へとつなげる。
D データの活用	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵や図を用いた数量の表現 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りにあるものについて, 個数に着目して絵や図などに表したり, その特徴を読み取ったりさせる。 具体物の操作活動や比較活動を大切にする。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な表やグラフ データの分類整理と表 棒グラフの特徴と使い方 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りにあるものについて, データを○や□ (小2), 棒グラフ (小3) で表したり, 読み取ったりすることができるように指導する。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 二つの観点から分類する方法 折れ線グラフ/時系列データ (小4) 円グラフ, 帯グラフ: 割合 (小5) 測定値の平均 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> データを分析するときに, それぞれのグラフのよさがかかるように指導する。(質的データ, 量的データの扱い方) 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表値 (平均値, 中央値, 最頻値) 度数分布を表す表 起こりうる場合 <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均値, 中央値, 最頻値の意味を理解させるよう指導する。 起こりうる場合について, 落ちや重なりがないように調べる方法を 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムや相対度数 多数回の観察や試行によって得られる確率 (累積度数) <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 棒グラフとヒストグラムの違いを理解させ, データを表やグラフに整理し, 分析や考察ができるように指導する。 不確定な事象の起こりやすさを表 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 四分位範囲や箱ひげ図 確率の必要性と意味 確率を求める <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布を比較することができるように指導する。 場合の数を基にした確率を求めることができるように指導する。 	<p>★主な指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 標本調査の必要性と意味 標本を取り出し, 整理する <p>★指導のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な事柄について, 標本と母集団の関係に着目し, データを収集させる。また, 既習事項を活用しながら収集したデータを分析し, 結果に基づいて判断できるように指導する。(コンピュータの活用)

☆ 青: 小中または学年間で移行する内容 ピンク: 新たに指導する内容